土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　下山田(吉庵)地区事業用地地質等調査業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　建築 構造物基礎

ボーリング名	R7-No.1	**調査位置**	福岡県嘉麻市下山田249番地24					**北緯**	33° 34′ 26.14″
発注機関	福岡県嘉麻市産業振興課			**調査期間**	2026年 1月 6日 ～ 2026年 1月 9日			**東経**	130° 45′ 47.09″
調査業者名	日本地研株式会社 **電話** 092-571-2764	**管理技術者**	山下 武志 地質調査技士 登録番号: 第17831号	**現場代理人**	中村 駿 地質調査技士 登録番号:	**コア鑑定者**	中村 駿 地質調査技士 登録番号:	**ボーリング責任者**	杉本 彦治 地質調査技士 登録番号:
孔口標高	T.P. +98.00m	**角度**	180° 上下 90° 0°	**方位**	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90°	**使用機種**	**試錐機** YBM-05型
総削孔長	8.00m							**エンジン**	クボタEA7-NB　**ポンプ** GP-3

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度－N値図 0 10 20 30 40 50	N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験 原位置試験	削孔月日
1	96.75	1.25		盛土（礫混じり土砂）		黒褐～茶褐				礫混じり細砂主体。 φ20mm～50mmの亜角礫・石炭礫混入。				1.15	4	5	7	16/300							
2				風化頁岩		赤褐～黄褐				風化が進行し固結土状を呈す。指圧で変形。 1.7m～1.9mは赤褐色を呈し、酸化鉄の影響が示唆される。			16	1.45	60/70			60/70	58						1/7
3	95.20	2.80											257	3.05											
4													900	3.12 4.03	60/20			60/20	17						
5				砂質泥岩		青灰～暗灰				深さ2.75m～5.00m、割れ目がやや多く発達。 縦方向に亀裂が入り、割れ目に沿って土砂化。 岩片はハンマー強打で割れる硬さ。 深さ5.00m以深、10cm～80cmの短柱状～棒状で採取。 RQD=62%。			900	4.05 5.05	60/20			60/20	17						
6													900	5.07 6.03	60/20			60/20	17						
7													900	6.05 7.03	60/50			60/50	42						1/8
8	90.00	8.00											360	7.08 8.05	60/20			60/20	17						1/9
													900	8.07											

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

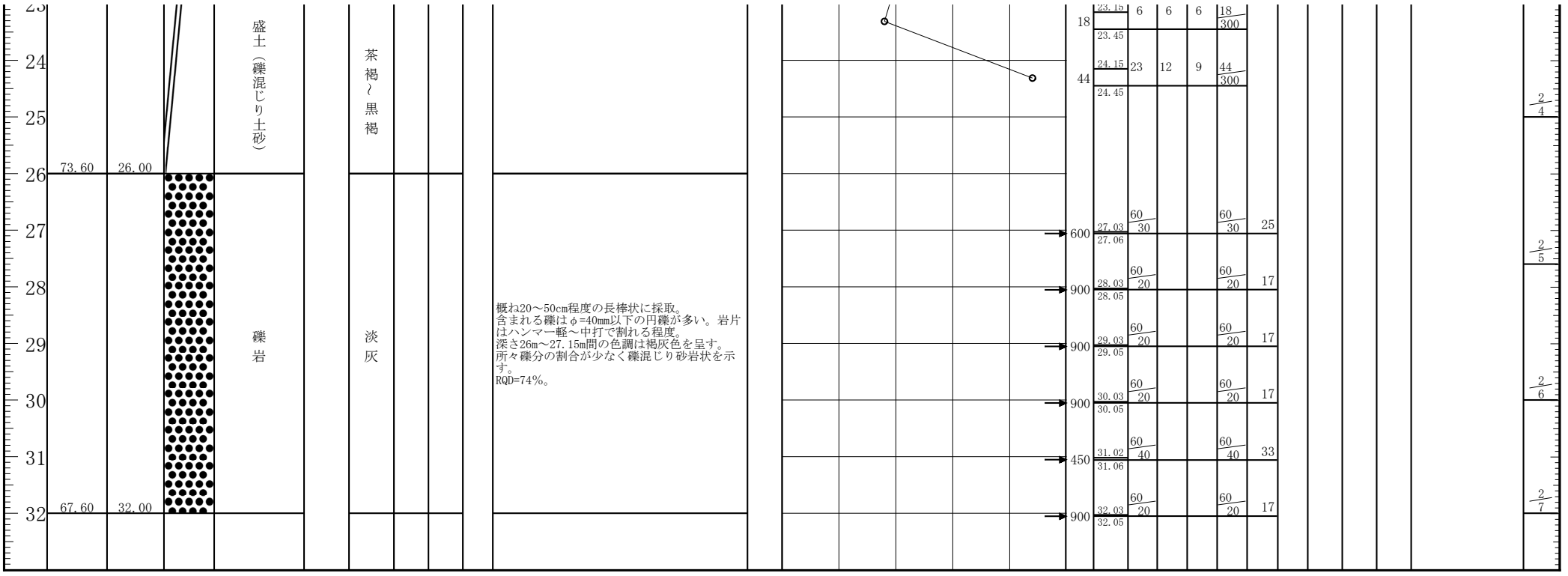
調　　査　　名　下山田(吉庵)地区事業用地地質等調査業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　建築 構造物基礎

ボーリング名	R7-No.2	**調査位置**	福岡県嘉麻市下山田249番地24			**北緯**	33° 34′ 24.43″
発注機関	福岡県嘉麻市産業振興課			**調査期間**	2026年 1月 26日 ～ 2026年 2月 7日	**東経**	130° 45′ 47.42″
調査業者名	日本地研株式会社 **電話** 092-571-2764	**管理技術者**	山下 武志 地質調査技士 登録番号: 第17831号	**現場代理人**	中村 駿 地質調査技士 登録番号:	**コア鑑定者**	中村 駿 地質調査技士 登録番号:	**ボーリング責任者**	杉本 彦治 地質調査技士 登録番号:
孔口標高	T.P. +99.60m	**角度**	180° 上下 0° 90°	**方位**	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90°	**使用機種**	**試錐機**	YBM-05型		
総削孔長	32.00m								**エンジン**	クボタEA7-NB	**ポンプ**	GP-3

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度－N値図 (0 10 20 30 40 50)	N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	原位置試験 室内試験	削孔月日
1																									
2				盛土（礫混じり土砂）		黒褐				ボタ主体。 礫混じり土砂状を呈する。 φ=5～10mm程度の亜角礫・石炭礫を含む。			9	2.15	2	2	5	9/300							1/26
3														2.45											
4													11	4.15	4	3	4	11/300							
5														4.45											
6																									
7	92.60	7.00																							
8				盛土（礫混じり粘土）		黄褐～茶褐				礫混じり砂質粘土状。指圧で変形する。 φ=5mm～20mmの亜角礫・石炭礫が混入。 7.00m～7.65mに強風化頁岩の転石混入。			11	8.15	4	4	3	11/300							1/27
9														8.45											
10	88.90	10.70											11	9.15	2	3	6	11/300			9.15	S-1	㊀	密度・粒度(沈降)	1/28
11														9.45											
12				盛土（玉石混じり土砂）																					1/29
13						黄褐～青灰				礫質土主体。 礫はφ=10mm～50mm程度。 礫岩由来の長さ10cm～25cm程度の玉石が混入。 11.70m～12.00mにボタが挟在。 12.70m～12.90mにボタが挟在。 15.50m～15.90mに礫混じり砂質粘土が挟在。 亜角礫・石炭礫はφ=5mm～20mm程度。														1/30
14													10	14.15	1	1	8	10/300			14.15	S-2	㊀	密度・粒度(沈降)	
15														14.45							14.45				
16	83.35	16.25																							2/2
17																									
18																									
19				盛土（礫混じり土砂）		茶褐～黒褐				16.25m～21.55m、ボタ主体。 礫混じり土砂状を呈す。 φ=5mm～10mm程度の亜角礫・石炭礫を含む。 21.55m～26.00m、シャモット主体。 礫混じり土砂状を呈す。 φ=5mm～20mm程度の亜角礫を含む。 25.75m以深礫混じり粘土状を呈す。 φ=5mm～10mm程度の亜角礫を含む。			7	19.15	3	2	2	7/300							2/3
20														19.45											
21													20	21.15	6	7	7	20/300			21.15	S-3	㊀	密度・粒度(沈降)	
22													21	21.45							21.45				
23														22.15	7	8	6	21/300							
24														22.45											
													18	23.15	6	6	6	18/300							
														23.45											


盛土（礫混じり土砂）
礫岩
茶褐～黒褐
淡灰
73.60
26.00
67.60
32.00
概ね20～50cm程度の長棒状に採取。
含まれる礫はφ=40mm以下の円礫が多い。岩片はハンマー軽～中打で割れる程度。
深さ26m～27.15m間の色調は褐灰色を呈す。
所々礫分の割合が少なく礫混じり砂岩状を示す。
RQD=74%。

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　下山田(吉庵)地区事業用地地質等調査業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　建築 構造物基礎

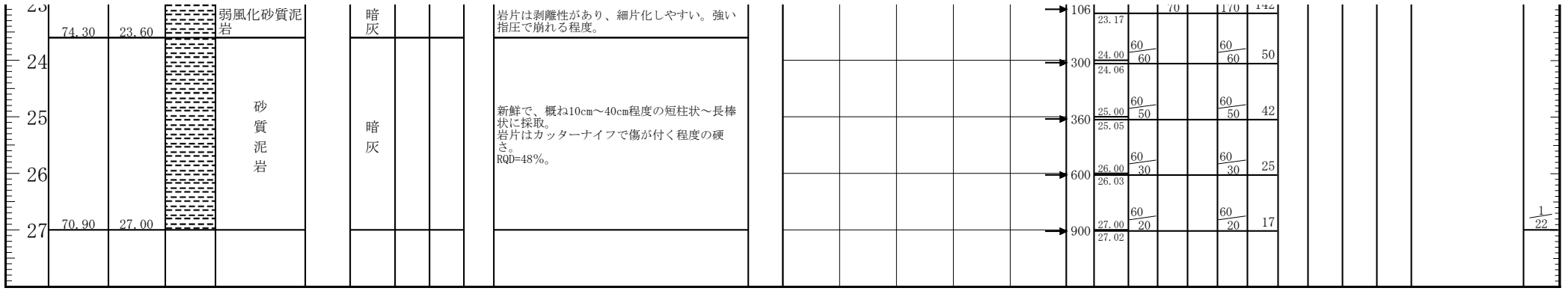
ボーリング名	R7-No.3	**調査位置**	福岡県嘉麻市下山田249番地24			**北緯**	33° 34′ 28.19″
発注機関	福岡県嘉麻市産業振興課			**調査期間**	2026年 1月 13日 ～ 2026年 1月 22日	**東経**	130° 45′ 46.83″
調査業者名	日本地研株式会社 **電話** 092-571-2764	**管理技術者**	山下 武志 地質調査技士 登録番号: 第17831号	**現場代理人**	中村 駿 地質調査技士 登録番号:	**コア鑑定者**	中村 駿 地質調査技士 登録番号:	**ボーリング責任者**	杉本 彦治 地質調査技士 登録番号:
孔口標高	T.P. +97.90m	**角度**	180° 上下 0° 90°	**方位**	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90°	**使用機種**	**試錐機**	YBM-05型		
総削孔長	27.00m								**エンジン**	クボタEA7-NB	**ポンプ**	GP-3

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
1	96.80	1.10		盛土（礫混じり土砂）		黒褐				ボタ主体。 φ=5mm～20mmの亜角礫混入。上部にφ=50mmの表層部の礫が混入。	
2				盛土（鉱滓）		淡橙～茶褐				上部は礫状で採取される。 φ=5mm～20mm程度の角礫状。 深さ1.8m以深、短柱状で採取。 φ=40mm以下の角礫が多く含まれる。	
3	94.95	2.95									
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10				盛土（礫混じり土砂）		淡橙～茶褐～黒灰				2.95m～5.80m、シャモット主体。 礫混じり土砂状を呈す。 φ=5mm～30mm程度の亜角礫を含む。 5.80m～16.75m、ボタ主体。 礫混じり土砂状を呈す。 φ=5mm～20mm程度の亜角礫・石炭礫を含む。 深さ12.00m～15.00mは礫混じり粘土状を呈す。 16.75m～19.00m、シャモット主体。 礫混じり土砂状を呈す。 φ=10mm～40mm程度の亜角礫を含む。 18.80m～18.90mにシャモットが短柱状で採取。 19.00m～19.70m、シャモット主体。 礫混じり土砂状を呈する。 礫はφ=10mm～20mm程度。 以深、礫混じり粘土状のボタ主体。	
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20	77.90	20.00		強風化砂質泥岩		茶褐				風化が進行し固結土状。強い指圧で変形。 カッターナイフで容易に突き刺さる程度。	
21											
22											
23	74.90	23.00		弱風化砂質泥岩		暗灰				岩片は剥離性があり、細片化しやすい。強い指圧で崩れる程度。	
24	74.30	23.60		砂質泥岩		暗灰					

深度－N値図

深度 (m)	N値	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
1.15	67	17	22	21/70	60/270	225	
2.00	69	34	16	10/60	60/260	217	
3.15	24	8	8	8	24/300		
4.15	4	2	1	1	4/300		
5.15	7	1	4	2	7/300		
6.15	9	3	3	3	9/300		
7.15	13	3	4	6	13/300		
8.15	21	7	7	7	21/300		
9.15	22	5	7	10	22/300		
10.15	17	5	4	8	17/300		
11.15	19	7	6	6	19/300		
12.15	26	10	9	7	26/300		
13.15	14	5	4	5	14/300		
14.15	23	7	9	7	23/300		
15.15	21	5	7	9	21/300		
16.15	19	5	7	7	19/300		
17.15	22	6	7	9	22/300		
18.15	16	4	8	4	16/300		
19.15	16	8	5	3	16/300		
20.15	14	4	5	5	14/300		
21.00	20	4	6	10	20/300		
22.00	180	60			60/100	83	
23.00	106	8	52/70		60/170	142	
24.00	50	60/60			60/60	50	

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	原位置試験 室内試験	削孔月日
				1/13
				1/14
				1/15
				1/16
				1/19
				1/20
				1/21


23
24
25
26
27
74.30
70.90
23.60
27.00
弱風化砂質泥岩
砂質泥岩
暗灰
暗灰
岩片は剥離性があり、細片化しやすい。強い指圧で崩れる程度。
新鮮で、概ね10cm～40cm程度の短柱状～長棒状に採取。
岩片はカッターナイフで傷が付く程度の硬さ。
RQD=48%。
106
300
360
600
900
23.17
24.00
24.06
25.00
25.05
26.00
26.03
27.00
27.02
60/60
60/50
60/30
60/20
70
170
142
60/60
60/50
60/30
60/20
50
42
25
17
1/22